

### 「知らなかった」ではすまされない！ 自転車事故を防ぐ 安全乗車マナー

東京都内の事故件数 5年間の推移

自転車利用者が違反したために起きた事故件数の5年間の推移。交通事故全体の件数と2017年を100%とした相対的減少しているが、自転車事故は増加傾向にある。

東京都内 交通事故発生件数(5年間の推移)

年	交通事故発生件数	自転車事故発生件数
2017年	23,612	1,271
2018年	22,771	1,432
2019年	21,662	1,434
2020年	21,640	1,434
2021年	21,348	1,441

出典: 交通安全総合分析センター「交通安全統計年報」

全国 相対乗車件数

自転車乗車数の増減を相対的に示したグラフ。2021年の増減を2017年と比べると、対自動車、対バイクの事故は減少しているが、対自転車、対歩行者の事故は増加している。自転車乗車数の増加していることが原因。

対自動車	対バイク	対歩行者	対自転車	対歩行者	対自転車
2017年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
2021年	884	1,199	1,130	1,164	1,114

出典: 交通安全総合分析センター「交通安全統計年報」

自転車乗車マナークイズ

問題 信号機のない交差点を右折する場合、どちらの方法が正しいでしょうか？

解答は10ページへ

1 直ぐどんでんを確立したら、斜め内側を右折する。

2 道路の右端に寄った交差点の向て直ぐで直進し、安全確認してから右折する。

### 「知らなかった」ではすまされない！ 自転車事故を防ぐ 安全乗車マナー

東京都内の事故件数 5年間の推移

自転車利用者が違反したために起きた事故件数の5年間の推移。交通事故全体の件数と2017年を100%とした相対的減少しているが、自転車事故は増加傾向にある。

東京都内 交通事故発生件数(5年間の推移)

年	交通事故発生件数	自転車事故発生件数
2017年	23,612	1,271
2018年	22,771	1,432
2019年	21,662	1,434
2020年	21,640	1,434
2021年	21,348	1,441

出典: 交通安全総合分析センター「交通安全統計年報」

全国 相対乗車件数

自転車乗車数の増減を相対的に示したグラフ。2021年の増減を2017年と比べると、対自動車、対バイクの事故は減少しているが、対自転車、対歩行者の事故は増加している。自転車乗車数の増加していることが原因。

対自動車	対バイク	対歩行者	対自転車	対歩行者	対自転車
2017年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
2021年	884	1,199	1,130	1,164	1,114

出典: 交通安全総合分析センター「交通安全統計年報」

自転車乗車マナークイズ

問題 信号機のない交差点を右折する場合、どちらの方法が正しいでしょうか？

解答は10ページへ

1 直ぐどんでんを確立したら、斜め内側を右折する。

2 道路の右端に寄った交差点の向て直ぐで直進し、安全確認してから右折する。

### 安全に乗るために やってはいけない6つのこと

これは「違反」です!!

安全に乗るために、絶対にやってはいけない6つのことを紹介します。

- 1 逆走する
- 2 信号や一時停止の標識・標示を無視する
- 3 イヤホンをしてながら運転する
- 4 4月1日からヘルメット着用が努力義務に
- 5 飲酒運転する
- 6 徐行せずに歩道を通行する

1 逆走する

逆走は、歩行者や他の自転車利用者との衝突の原因となります。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

2 信号や一時停止の標識・標示を無視する

信号や一時停止の標識・標示を無視して通行することは、法律で禁止されています。また、歩行者や他の自転車利用者との衝突の原因となります。

3 イヤホンをしてながら運転する

イヤホンをしてながら運転すると、周囲の状況に気づけず、事故の原因となります。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

4 4月1日からヘルメット着用が努力義務に

ヘルメットを着用することで、万一の事故発生時に頭部を保護することができます。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

5 飲酒運転する

飲酒運転は、運転能力を低下させ、事故の原因となります。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

6 徐行せずに歩道を通行する

歩道は歩行者の通行空間です。自転車は歩道を通行する場合は、徐行する必要があります。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

### 安全に乗るために やってはいけない6つのこと

これは「違反」です!!

安全に乗るために、絶対にやってはいけない6つのことを紹介します。

- 1 逆走する
- 2 信号や一時停止の標識・標示を無視する
- 3 イヤホンをしてながら運転する
- 4 4月1日からヘルメット着用が努力義務に
- 5 飲酒運転する
- 6 徐行せずに歩道を通行する

1 逆走する

逆走は、歩行者や他の自転車利用者との衝突の原因となります。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

2 信号や一時停止の標識・標示を無視する

信号や一時停止の標識・標示を無視して通行することは、法律で禁止されています。また、歩行者や他の自転車利用者との衝突の原因となります。

3 イヤホンをしてながら運転する

イヤホンをしてながら運転すると、周囲の状況に気づけず、事故の原因となります。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

4 4月1日からヘルメット着用が努力義務に

ヘルメットを着用することで、万一の事故発生時に頭部を保護することができます。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

5 飲酒運転する

飲酒運転は、運転能力を低下させ、事故の原因となります。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

6 徐行せずに歩道を通行する

歩道は歩行者の通行空間です。自転車は歩道を通行する場合は、徐行する必要があります。また、歩行者や他の自転車利用者から見て、危険な状況と判断され、事故の原因となります。

### JUST HEALTH

からだの元気ライブ応援機

3月4日

【特集】  
自転車事故を防ぐ  
安全乗車マナー

【インタビュー】  
橋本 大輝  
(体操選手)

【特別】  
練習を始めた  
橋本エネルギー主査

橋本大輝選手が、体操競技の練習風景を捉えています。